

# 2017 小6

## 受験・サクセス

# 合宿作文集

8/16 ~ 8/20 志賀高原



茗溪塾でのレベルアップ合宿

船橋教室

K. S

私は八月の十六日から二十日まで茗溪塾の夏期合宿に参加しました。五年生の時は三泊四日で、今年は四泊五日になりました。この合宿の中で、一番心に残ったイベント、授業内容、その他いろいろな行事などを四つ紹介していきます。

一つ目、イベントで楽しかった事は森林浴タイムトライアルとテールブルマツチです。森林浴タイムトライアルではチームで協力してミッシオンを解いたりしました。一番心に残ったのは文字の並び替えの時です。自分でも一単語並び変えられ、解けたときはうれしかったです。テールブルマツチでは、みんなと解ける紙の枚数を競い合いました。20枚以上も、くやしかったです。でもせっさたくまし合ってがんばりました。

二つ目は、授業内容の事です。特に良かったなど思ったのは、弱点つぶしや朝の学習ルームです。弱点つぶしでは苦手なことをなくすためにたくさんプリントを解きました。すぐくためになったと思います。朝の学習ルームでは昨日の終わらなかつた宿題などを終わらせました。KYもしました。プリントが多くて大変でした。

三つ目は、夜9時から始まるレベルアップ授業です。授業というよりテールブルマツチのような物でした。解いて、先生の所に行って丸つけしてもらったら、二枚目がとけます。そこ

には丸つけだけする先生と、ヒントを教えしてくれる先生がいて、その先生の所にいかに効率よく並ぶかが勝負です。合計点数は上位5位の人たちにはかなわなかったけど、自分で全力を出し切ったので楽しかったと思います。

もう一つ、大きなイベントがありました。中学入試トライアルです。本物の入試を想定した理科の天体でした。最初のテストでクラス分けがあり、2回目のテストで合否を決めます。合格発表はとても緊張する物ですが、どんな結果でも自分の刺激になります。

今年の合宿では、かなり自立することの大切さがわかったと思います。親元を離れて全て自分達で行動しなければいけません。毎日朝から夜までずっと勉強づくで大変だったけど、この受験勉強はいやだと思ったことがあまりありませんでした。むしろ楽しかったです。友達と協力して一日中生活するし、先生達も全て教材まで準備して待っていてくれました。(特にテールブルマツチの時の映像や劇はすごくおもしろいです。)スターティングテストで解けなかつた問題はいつのまにか自分で解けるようになっていました。自分でもびつくりしました。やればできるし、やらなきゃずつとできないまま、という先生達の言葉が身にしみました。五日間、一日のご飯を作ってくださいました志賀ノ湯ホテルの方々、そして一緒になって勉強を教えてくださいました先生方、競い合ってお互いを高め合えた友達に感謝します。

八月十六日、ついにこの日がやってきた。ずっと楽しみにしていたのでわくわくしてきただけで、朝から帽子を忘れてしまい焦ってしまった。

僕は算数が得意だ。だから、今年は算数イベントを頑張りたいと思っていた。算数イベントは三日目と四日目にある。

そして三日目。この日にあるイベントは算数不得意特訓サバイバルだ。ルールはジャンル別のテストを一枚ずつ五枚解いて、先生が決めた点数以下だった人は別の部屋で特訓をする。そして最後まで特訓を受けなかった人は決戦問題というものを解くというものだ。

このルールを聞いた僕は絶対に決戦問題まで残ってやると思った。そして本番になると、とてもない緊張で問題が解けるか心配だったが、一枚目で満点を取ったら勢いがついて二枚目、三枚目と解いていき、ついに決戦問題までできた。僕はここまでできたらもう全力を出し切るしかないと思いき、全力で解いた。結果は二位。一位を取りたかったけど全力を出した結果だったので良かった。

そして四日目。四日目の算数イベントはテールブルマツチだ。テールブルマツチにはとても深く深い思い出があるので一位になりたいと思っていた。去年は二位でとても悔しい思いをした。

「よいい、はじめ。」

という声で全員が一枚目を解き始めた。僕も勢いよく一枚目を解いた。そしてどんどん問題を解いていき、一から十のところを二位で抜けた。しかし、十一枚目でとてもないぐらいい焦って、どんどん抜かされていった。すると勢いもなく二十枚目の時には、一位と四枚も差をつけられてしまった。

「絶対に諦めるな。」

これは出発前に兄に言われた言葉だ。その言葉の通りにあきらめずに解いた。結果は三位。とても悔しかった。

僕はこの合宿であきらめたらだめということを学んだ。これから受験、そして受験以降も諦めないことを中心に頑張りたい。



楽しい思い出

私は教室を出発するとき不安でした。同じ部屋の子と仲良くなれるのかな？四谷大塚受験コースの子と同じことを勉強してついていけるのかな？などと心配でした。けれど、部屋の子たちとすぐに仲良くなり、勉強も自分なりに一生懸命頑張れました。

一番良かったのは、星の観察です。おばあちゃんの家でもオリオン座などがきれいに見られるけれど、山で見ると、とても綺麗でした。初めて見た星もあり「すごいな」と思いました。

今までテストは緊張していたのに、中学入試オリエンテーションで先生方が話していた「緊張しないために自分を追い詰める」といったことを頭に入れてファイナルテストに臨んだら、本当に緊張しなかったのです。これからも自分を追い詰めていきたいと思えます。

弱点つぶしタイムは、自分に合わせたプリントができたのでとても有効でした。

チームのみんなと学習面では、お互いに勉強の方法を話し合い、時にはどうやったらできるのか教えてもらい、時には言い合いになったこともあったけれど、毎日楽しく過ごせました。チーム担当の先生に色々教えてもらい、わからないところが消化できました。この夏期合宿で学んだことを活かして精一杯受験を頑張りたいと思います。

いつもと違う5日間

本八幡教室 I. M

今年僕は初めて塾の合宿に行きました。いろんな行事の中で一番心に残ったのは、テーパーマッチです。僕は最初の10枚までは3位だったけれど、11枚目でつまってしまいました。しかし、その後、皆が苦勞している問題に正解でき、どんどん順位が上がっていきました。教室移動をして問題を解いていき、後半の途中で1位になり、そのまま1位をキープできました。本当にうれしかったです。

二番目に心に残っているのは森林浴タイムトライアルです。最初の算数の問題はすぐに解けて、それ以外の問題も順調に正解できました。3位でホテルだったので、「これはいけるかな？」と思いました。ことばの並べ替えがとても難しく手間取っている間に、他のチームは、どんどん正解していきました。僕たちは結局7位くらいでゴールしました。結果発表では5位でよばれてくやしかったです。しかし、長野県の森林の中を歩くのは、とても気持ち良かったので、またできれば行ってみたいと思いました。

三番目に心に残ったことは天体観測です。理由は、自分の住んでいるところでは見られないほどのきれいな星空だったからです。それに夏の三角や北斗七星などいろいろな星を見ることができたからです。星空を見てやっぱり志賀高原の星空はきれいだなと思いました。でも、

さそり座を見ることができなかったのが少し残念です。

この夏期合宿でいつもとは違う日々を過ごし、理科では天体、社会では歴史、国語も算数もいろいろな勉強をしたことが心に残っています。不得意特訓サバイバルやテーパーマッチ、ファイナルテストやカレールコンクールなどもとても楽しかったです。これから受験まで合宿で学んだことを生かして全力で頑張つて、第1志望校に合格したいと思います。



EチームのWIN-WIN

千葉教室 H. I

私にとつて今回の合宿は、改めて勉強が楽しいと思わせてくれるものでした。そう思うようになったきっかけの中で、特に印象に残ったものは三つあります。

一つ目は、クラス別授業です。今回は「Eコース」というレベルのコースに入りました。千葉教室は小六受験クラスが二人しかいません。そのため、たくさんのかしい人に囲まれて勉強するのはとてもおもしろく、さらに、刺激になりました。けれど、私ははじめから偏差値が低く、クラスの中で一番点数がとれなかったり、いつもヒントをもらってばかりいたり、みんなの足を引っぱるようになってしまいました。それでも、どの教科においても、先生が一つ一つわからないところを教えてくれたので、少しずつだけれど点数を上げることができました。さらに、苦手だった社会も克服することができました。

二つ目は、チャレンジルームです。難しい問題を自分の力で解いたら十ポイント、ヒントをもらって解いたら五ポイントもらえます。私は、一問目からまちがえてしまい、はじめからヒントをもらいました。先生は、わからないところがあると何回でも教えてくれました。しかも、少しずつヒントをくれるので、自分で少しでも多く考えようという気になれました。そのようにがんばって丸がもらえると、とてもうれしい

気持ちでした。

三つ目は、国語のレベル別授業です。私は一番上の「レベル3」に入ることができました。国語が好きなので楽しみにしていたけれど、問題がすべて記述形式だったので、やってみるとかなり難しいものでした。担当の先生は、文章を読みながらわからない言葉が出てくると意味を書き出してから問題の解説をしていたので、たくさん言葉を知ることができました。また、設問に答えるときのポイントもたくさん知ることができました。作文課題の際は、話題をしっかりと選んで自分の考えを述べることの大切さを知ることができました。そして、私の苦手な「具体的に答えなさい」という問題が出された際も、どのような記述の形式にすればよいかわかりました。

このようなことをとおして、改めて勉強が楽しくなりました。それは、いつもとちがうみんなに囲まれて勉強できたからだと思います。Eチームのみんなとは、男子も女子も仲良くできたとし、オンとオフのメリハリもしっかりつけることができました。Eチームのみんなこそ、WIN・WINの関係で助け合えるメンバーではないかと思えます。

初めての合宿、本当に楽しかったです。ありがとうございました。



新しい発見

方南教室 Y. R

「知らなかった。」私は心の中で思いました。一日目の入試オリエンテーション。一番ためになったと思うのは、私が苦手な暗記法です。中学入試を経験したことのある先生が言っていた暗記法は、私が知っていても実際にやったことがないもので、その方法で暗記ができることにビックリしました。

そして一日目の夜に、天体を覚えてたくてその方法をやってみたら次の日によく覚えていてすごいと思いました。これからもこの方法で暗記をやっていきたいです。

「これできな〜い。」森林浴タイムトライアルの一番最初の算数の問題をAチームの女子みんなであきらかに解くことができませんでした。それがくたくたくと勉強しようと思いましたが、Aチーム女子のみんなであんなに問題を解いていったのですが、私はほぼ解けなかったのです。「みんな、頭が良いなあ〜」と思いました。最後に集めた言葉を並べていく問題があり、みんなとても悩みましたが制限時間ギリギリで「ジュケンハココロノショウブデス」ができました。最後に入試トライアルがありました。天体は苦手だったけど、みんなと一緒に勉強したので少し得意になり、テストもできたと思いました。結果発表のとき、私は心の中で「ドキドキする。受からなかったらどうしよう」と思っていた。

ました。

ついに紙が貼られます。私の受験番号はA-009でした。懸命に番号を探しました。そうしたら、A-009という番号が書いてありました。とてもうれしかったです。

入試でも、またこの気持ちになれるようがんばりたいと思いました。

夏期合宿の感想

小岩教室

Y. K

森林浴タイムトライアルではみんなの問題を解くうちに、どんどんチームの仲も深まり、仲良くなれました。最初のプリントの問題は、何回答えを出しても丸付けしてもらっても、すべてバツでも悔しかったです。でも、その後の問題は、みんなで力を合わせて解くと、たくさん解けました。その時はとてもすっきりしました。だけど、最後の文字の並べ替えでは、制限時間ギリギリまで考えたけれど、結局解けなくて、とても悔しかったです。

不得意特訓サバイバルでは、集中力を高めて挑みました。最初の問題から、順調にクリアしていききました。最後のテストを受けられるといい、安心したところで先生が突然「三野輪チャレンジ!」と言ったので、ぼくはビビりました。気持ちを切り替えて挑みましたが、結果はアウ

トで、特訓ルームに連れていかれました。そこでプリントを渡されました。僕はそのプリントを頑張って終わらせ、大広間に戻ることができました。でも、時間がなくてテストの点数が取れず、悔しかったです。僕の不得意なところがわかってうれしかったです。苦手なところは、これから得意にしていきたいです。

テーブルマッチは、目標の20枚を超えられるように努力しました。最初のほうは、順調に解くことができました。そうしたら、目標の20枚に届いたので、とてもうれしかったです。国語学習イベントでは、不得意な国語が好きになり、国語の問題を解くのがとても楽しみなってよかったです。次は記述が得意になるように頑張りたいと思います。

中学入試トライアルでは、本当の入試の日だと思って、挑みました。とても緊張して、合格しなかったらどうしようと考えてしまい、不安になりました。でも、テストを受けてみると、緊張はほぐれて、自分ではしつかりできたと思いました。結果は不合格だったけれど、完ぺきにやり直すと不得意科目をつぶして、本番に挑んでいき、合格したいと思いました。合宿に行ってもよかったです。



たのしかった夏期合宿

瑞江教室 S.S

合宿初日の朝、ぼくは母に起こしてもらいました。だから、合宿で起きることができると少しだけ心配でした。

しばらくバスに乗ってついたホテルは、とても大きくてきれいでした。部屋は五人部屋で最初はともみずかでした。チームの人は、屋君、佐野君、関君、田中君、ぼくでした。最後のほうは、とてもにぎやかでみんなのあだ名までつけていました。

ぼくは、初めて一番上のEクラスになれたので、心の中ではとてもうれしかったです。チームのみんなも、よく成績表の上の方で目にする名前ばかりでした。だから、ついていけるかどうか心配でした。

合宿で一番楽しかったのは、森林浴タイムトライアルです。なぜなら、452号室のみんなといっしょに問題を解いたり走ったり歩いたりするのがとても楽しかったからです。最後の方に、とても早くならびかえが解けたのでとてもうれしかったです。

また、一番ためになったのは中学入試オリエンテーションです。なぜなら、3人の先生がみんなに向けて、とてもよいアドバイスをしてくれて、いい暗記のしかたを教えてくれたからです。これでもう、社会ができるようになるぞと思います。

そして、一番心に残ったのは、テーブルマツ

チです。なぜなら、普段は友達であっても、ここではみんながライバルになるからです。そこで負けてしまった人、勝った人がいて、とてもいい経験だと思いました。

ぼくは、この合宿に行っているいろいろなことを知りました。

一つは、受験は団体戦だということです。だから、これからは友達とWIN・WINになれるようにがんばらなければいけないと思いました。

もう一つは、あきらめないで最後まで考えつづけるということです。だから合不合格判定テストでも絶対にあきらめないようにしようと思いました。ぼくはこの合宿に来られてとてもよかったです。

新たな発見！夏期合宿

笹塚教室 A.Y

ぼくは、この夏期合宿を通して、ためになる勉強や解き方等を知りました。その中で、ぼくは勉強で一つ、イベントで一つ、テストで一つ印象に残りました。

まず勉強で一番印象に残っているのは不得意特訓サバイバルです。なぜ不得意特訓サバイバルが印象に残っているかというと、ぼくは算数に関して苦手が少ないと思っていました。けれど、不得意特訓サバイバルをやってみると、で

きないところが多くて、まだまだ勉強不足だな  
と思いました。また、不得意特訓サバイバルが  
印象に残っている理由は、もう一つあります。

それは、前は解けた問題が解けなくなっていた  
からです。なので、これからは、解けるように  
なった問題は何度も反復して解いていこうと思  
います。

次に、イベントで一番印象に残ったのは、森  
林浴タイムトライアルです。なぜ森林浴タイム  
トライアルが一番印象に残っているかというと、  
所々出てくる問題が意外と難しかったけれど、  
みんなであーだこーだと言っているうちに、ち  
やんとした答えが出て、みんなと仲良くなれた  
気がしました。また、森林浴タイムトライアル  
では、志賀高原の自然をそんぶんにたんのうす  
ることもできました。

最後にテストで一番印象に残っているのは、  
中学入試トライアルです。中学入試トライアル  
では受験会場のようにはりつめた感じを味わい、  
合格発表の時のきんちよう感も知れました。け  
れど、今回の中学入試トライアルでは不合格に  
なってしまったので、これから先はもっと勉強  
して、今度こそ合格を勝ち取りたいです。

夏期合宿では勉強、イベント、テストの全て  
から、たくさんのことを学ぶことができました。  
なので、これからは勉強では自分の苦手なところ  
を克服できたので、今度は得意になれるよう  
に。イベントでは、友達と協力する大切さを知  
ったので、だれとでも協力できるように。テス  
トでは、一点を失わないようにしたいです。

自分の意識を変えた夏の合宿

東大島教室 Y. K

八月十六日から二十日までの合宿の三日目、  
「不得意特訓サバイバル算数」があった。この  
イベントは、単元ごとにチェックテストを行い、  
点数の低かった単元をしっかりと勉強して苦手  
をなくすイベントである。また、最後にはフ  
ァイナルテストというテストがあり、ぼくはそ  
を目指していた。

ぼくにとつて初めての不得意特訓サバイバル  
当日、ぼくはものすごく緊張し、また楽しみで  
もあった。チェックテストは全部で四枚。一枚  
目は割合であった。苦手ではないが、解くのに  
少々時間のかかる単元であった。ここで、ぼく  
の緊張は最も高くなった。

「よい。始め。」

スタートの声がかかった。意外と簡単だった  
のでどんどん解けた。そして二枚目、三枚目、  
四枚目を突破し、「ファイナルだ」と思ったが、  
人数が多いため五枚目のテストをやることにな  
った。これもぎりぎり突破し、ファイナルが  
始まった。とりあえず解ける問題だけ解いて出  
した。次の日の結果発表で、ぼくは一位で呼ば  
れた。ものすごくうれしかった。

同じ日の夜、星の観察に行った。夜だったの  
で、少し寒かった。上を向いた瞬間、ぼくはお  
どろいた。なぜなら、都会では見られないよう  
な星空が、ぼくの頭上にあつたからだ。そして、  
長谷先生についていき、少し上った所でもう一  
度空を見上げてみると、もっと星が見やすくな

った。長谷先生が教えてくれた所を見ると、確  
かに明るい一等星が三つ輝いていた。これが夏  
の大三角だと教えてくれた。やはり、図や星座  
早見で見るとは全くちがう迫力があつた。他  
にも、たくさんの星が見えた。北極星や北斗七  
星、さそり座が見られなかったのがものすごく  
残念だった。でもこのおかげで、受験にも役立  
つし、思い出にも残ると思うので見られてよか  
ったと思つた。

また、身についた知識や方法で一番よかつた  
のは、国語の記述の書き方である。今までは、  
このあたりかなというところをとりあえず書い  
てみるという感じで、答えの中心をしつかりと  
つかめていなかったり、重要な言葉が入ってい  
なかつたりした。しかし、レベル別の国語の授  
業を受けたことで、記述を書く上で大切なこと  
を学んだ。答えの中心を見つける、修飾語を使  
う、比喻表現をなるべく使わないなど、知らな  
かつた書き方をたくさん学んだ。そのおかげで  
記述に自信がついた。ファイナルテストの国語  
の記述でも三問中二問と三角で三点ももらえた。  
また、指示語の問題の解き方やたしかめる方法  
なども教わつた。

このように、今回の合宿でいろいろな教科や  
単元に自信が持てるようになった。また、いろ  
いろな考え方や解き方も身についた。この経験  
を生かして、塾や家でしっかりと勉強して、成績  
を上げて、第一志望校に合格したい。

初めての、そして小学生最後の合宿

ユーカリが丘教室 E・K

僕にとって今年の合宿は、初めての合宿で、小学生最後の合宿でした。初めての合宿は知らないことばかりでした。けれども、いろいろやっているうちに、「合宿は思っていた以上に楽しいな」と思いました。

次に、合宿で印象的だったことを紹介します。一つ目は、中学入試トライアルです。中学入試トライアルの教科は僕の嫌いな理科でした。けれども、僕なりに頑張つて覚えめました。そして、トライアル①の結果はBコースでした。次のトライアル②では、①でわからなかったところや間違つたところを復習して、結果は六十四点で合格でした。テスト結果をもらったとき、「ぎりぎり合格するかな」と思いました。合格点は六十点だったので、わずかに四ポイント余裕がなく、合格したけれどぐちゃしかったです。もし、もう一度中学入試トライアルがあったら、七十五点くらいとりたいと思います。

二つ目は、テーブルマツチです。テーブルマツチは大広間からスタート。十枚目までスムーズに進みましたが、十一枚目で時間がかかってしまつて大変でした。十一枚目が終わると、四階の教室へ移動です。ここは体力勝負です。僕は体力がないので、時間がかかり、ぐちゃかったです。十二〜十五枚目までクリアし、再び大広間に戻りました。そこで、二十枚目まで終わったところで終了。結果は二十枚。春の全校合

同特訓よりも二枚多くとけたのでうれしかったです。次のテーブルマツチでは二十五枚を目指したいと思います。

三つ目は、リターン・レベルアップ・チャレンジです。一回目・二回目・三回目ともにレベルアップでした。一回目は四十五分くらいで六枚とけました。二回目は、星の観察があつたため十分くらいでしたが、一回目と同じ六枚とくことができました。同じ枚数でも一回目より短い時間とけたのでうれしかったです。三回目は、五十分くらいで七枚とけました。一回目・二回目より多くとけてうれしかったです。僕の合計の結果は百二十点でした。三回目が終わった後、レベルアップの中で表彰があり、一位・二位の中に同じユーカリが丘教室の生徒が二人いたのでとてもうれしかったです。

僕は、合宿に行つてみて、とても楽しい五日間でした。今年で小学生最後の夏期合宿ですが、もう一度行つてみたいくらい、ためになつたし、楽しかったです。今度は中学生の合宿に行きたいなと思います。

#### 編集後記

合宿でのみなさんの前向きな姿勢や、チームで協力し合う姿勢が非常に印象的でした。本当にあつという間の5日間でした。今年はいつもの以上に先生達もやりがいのある合宿になりました。参加してくれたみなさん、本当にありがとうございました。

これからも、合同特訓・正月特訓・若溪模試・もちろん志望校別特訓も実のあるものにしていきますので、また一緒に頑張りますよ！

小六受験合宿スタッフ一同



